

選挙を 見つめて

19あおもり

参院選を終えて①



根本ひかるさん(19) 八戸・八戸学院大2年

若者に響く政策必要

区もけっこう差がついた印象。野党が批判しても国民の多くは今の政権を信頼しているのかなと思う」と話す。与党側が消

「選挙は政策と説得力が重要だと思った。非現実的な政策は有権者に響かなかったのではないかと語る。3人とも気になったのは投票率。本県選挙区は42・94%で過去最低、全国も48・80%で過去2番目の低さだった。「県内、全国とも多くの人に参政の意思がなくなっているということ。とても残念」と西山さん。中村さんは「世間の関心が低かったし、投票率は低くなると感じていた。(統一地方選と知事選、参院選が重なった亥年選挙の)選挙疲れもあると思う」と述べた。

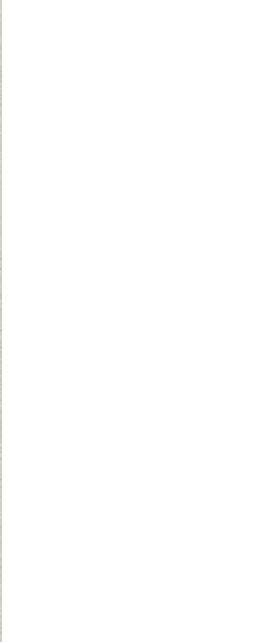
21日投票の参院選は、自民・公明両党で改選過半数を確保し、本県選挙区は自民党現職の滝沢求氏が再選を果たした。今回の連載で取材している6人に、選挙結果について聞いた。(本紙取材班)

八戸学院大学2年の根本ひかるさん(19)は「全国的に見て自民、公明の政権与党が多く勝っているし、本県選挙

費税増税を明言していたことで「多くの人は増税の必要性を感じているのではないか」とも考えたという。

七戸町の運送会社社長、中村健さん(65)は東北6県の各選挙区で自民党候補が2勝4敗だったことを挙げ「東北は以前は自

民党が強かったが、地方の組織票が崩れているのだろ」との見方を示した。弘前大学4年の西山真人さん(21)は弘前市は



「選挙は政策と説得力が重要だと思った。非現実的な政策は有権者に響かなかったのではないかと語る。3人とも気になったのは投票率。本県選挙区は42・94%で過去最低、全国も48・80%で過去2番目の低さだった。「県内、全国とも多くの人に参政の意思がなくなっているということ。とても残念」と西山さん。中村さんは「世間の関心が低かったし、投票率は低くなると感じていた。(統一地方選と知事選、参院選が重なった亥年選挙の)選挙疲れもあると思う」と述べた。

根本さんは「選挙の時だけ良いことを言っ、当選したら終わりというのは許されない。未来を担う子どもたちの教育やスポーツ振興に力を入れてほしい」と語った。